

●人口データ（令和5年9月末現在）

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	2,953 人	世 帯 数	1,620 世帯
14歳以下	139 人	一人暮らしの高齢者世帯数	267 世帯
15～64歳	1,169 人	高齢者のみ世帯数	159 世帯
65歳以上	1,645 人	高 齢 化 率	55.7 %
(75歳以上)	(934 人)	後期高齢化率(75歳以上)	31.6 %

住民アンケート・座談会より

山城地区は、愛媛県・高知県と県境を接し、吉野川流域の大歩危溪谷や四国山地の山々に囲まれ、面積の85%を山地が占めている。高齢化と人口減少が進む中、狸や妖怪伝説、地形など地域の資源を活かした町おこしイベント開催などや観光地としての強みもあります。

事前の住民アンケートからは、「安否確認・見守り活動」「相談しやすい体制や情報提供」「緊急時に備えての活動や役割分担・平時からの関係づくり」といった点が課題として明らかになりました。

座談会では、第三次計画の取り組みにより、組織間の連携強化の取り組みが進められていますが、活動の拡大は難しいという地域が大半を占めました。地域内の組織力低下や高齢化に伴う移動範囲の制限により、これまで以上に小地域での活動や日頃からの繋がりの重要性が再認識されました。第四次地域福祉活動計画を元に、今ある地域の活動をつなげ、それぞれが連携することで地域力を高めていくことが必要になっています。

今後の方向性

第三次計画において、地域活動の把握により各組織の連携強化を図ることの必要性の意識が高まりました。

高齢化・人口減少が進む山城地域においても、活動の維持継続が大きな課題となっています。安心して住み続けられる山城地区を目指して、地域内組織の連携による支援体制の強化(役割分担と仕組づくり)、リーダー養成による相談しやすい環境の整備、緊急時にも対応できる地域づくり、地域一帯となって検討・実践するためのツールとして本計画を策定しました。

重点事業 1	地域の絆を深める
---------------	-----------------

地域での課題

- ▼ 組織力低下による活動の継続
- ▼ 交流の機会の減少

課題解決に向けての目標

- 地域内組織や集まりの場との連携強化
- 小地域での交流の機会の充実



取組項目	内容
地域リーダーの養成	地域内組織相互の理解を深め、相互の役割を把握するとともに、学校等とも連携し次世代を見据えたリーダーの育成に取り組む。
交流の場の把握・充実	既存活動の把握により、関係団体等の連携・協働を促進し、活動の充実と地域組織力の維持と強化を図る。

重点事業 2	援助が必要な人に支援を届ける
---------------	-----------------------

地域での課題

- ▼ 援助が必要な人を発見しつなげる体制が必要
- ▼ 緊急時の連絡や支援方法

課題解決に向けての目標

- 気軽に相談できる場づくり
- サロン活動の推進(相談・状況確認・健康増進)
- ネットワーク会議による支援体制づくり



取組項目	内容
見守りの体制づくり	ネットワーク会議や既存の集まりの活用による意識的な状況確認と、相談が途切れないシステムづくりを図る。
小地域での集まりの場づくり	集まりの場を通して、状況の確認や発信、変化への気づきや相談しやすい環境を整える。
支え合いマップの作成	地域の状況を地図上で確認し、可視化することで、地域内での役割分担や支援体制づくりにより、支援活動の推進・強化を図る。

重点事業 3

安全で安心豊かなまちづくり

地域での課題

- ▼ 緊急時に対応できる体制づくり
- ▼ 地域内での情報収集や発信の方法

課題解決に向けての目標

- 地域の状況把握(環境・体制など)と住民意識の向上
- 小地域における支援体制づくり



取組項目	内容
地域内での支援体制の整備	支え合いマップ等を活用し、地域内の連絡体制や関係機関との情報共有、役割分担により相互に助け合える体制づくりと、地域内での課題を発見しつなげる体制の充実・強化を図る。
防災・防犯・防火に関する知識の向上	知識を深め、緊急時に各自で適切に判断し行動できるよう住民意識の向上を図るとともに、リーダー養成による関係組織の連携による支援体制の充実強化を推進する。



山城地区防災研修会